

最優秀賞

全国の在宅障害者の才能を結集、 IT関連ビジネスに新分野を拓く

株式会社沖ワークウェル



企業プロフィール



株式会社沖ワークウェル

代表者：取締役社長 木村良二

〒108-8551

東京都港区芝浦4-11-17（2号館）

TEL 03-5445-6805

FAX 03-3798-7085

業種および主な事業内容

ホームページ制作、プログラム制作、ポスター制作、名刺制作など

従業員数

36名（平成18年1月現在）うち障害者数29名

<内訳>

肢体不自由者23名（うち重度23名、在宅22名）、内部障害者2名（うち重度2名、在宅1名）、視覚障害者1名（うち重度1名）、知的障害者3名

事業所の概要と障害者雇用の経緯

平成8年、沖電気らしい社会貢献活動を強化する目的で、社会貢献推進室を創設、障害者雇用の問題を本格的に検討しはじめた。通勤できない障害者の活用にはコンピュータネットワークを活用した在宅ワークが有効な手段であり、障害者の在宅雇用こそ沖電気らしい社会貢献活動であると確信する。

障害者の在宅雇用管理は極めて困難であるが、多くの問題点を克服、平成10年に3名の重度障害者を初めて在宅勤務で採用した。その後、独特の在宅勤務制度が軌道に乗り、次第に在宅雇用者を増加させ、平成16年に13名の在宅雇用者が在籍する特例子会社として独立。現在では23名の在宅雇用者以外に、通勤の視覚障害者1名や知的障害者3名などを雇用して、障害者の特性を生かしたユニバーサルデザインやアクセシビリティのコンサルタントとしての受注など、新たな事業展開を図っている。

社内ベンチャーとして、障害者の在宅チームが誕生

外部のユニークな人材との出会いが 新しい可能性を生む

平成10年6月、沖電気工業株式会社は3名の通勤が困難な重度障害者を初めて在宅勤務で採用した。このような障害者の在宅勤務がスタートするきっかけは、その2年前の社会貢献推進室の発足とともに、初代室長に木村良二現・沖ワークウェル社長が就任したことに始まる。

「沖電気らしい企業特性を生かした社会貢献活動を」という命題だけを与えられた木村室長は、どのように活動を展開すべきか、思い悩む日々を送っていた。当時の各企業の障害者対象の社会貢献活動といえば、保護の観点から社員のボランティアを募っての活動などが主なもので、それなりの意義は認めながらも、企業特性を生かした活動としては、いささか物足りなく感じていたからである。

具体的な結論を見いだすことができないまま、インターネットを眺めるうちに、社会福祉法人プロップステーションのホームページに思わず引き寄せられたのである。その中で、竹中ナミ理事長は、「チャレンジド（障害者）を納税者にできる日本」を目指すという独特な考え方を展開し、「働く意欲を持つ人が社会参画や納税という形で支える側となり、……ケアの必要なときには適切なケアを、働く意欲があるときには就労のチャンスが得られる社会システムが必要」と主張していた。

さらに木村室長が、「目から鱗」の新鮮なショックを受けたのは、就労のチャンスを与えるのに「コンピュータネットワークを活用した在宅ワーク」が有効な手段であり、すでに実践していると述べていることであった。コンピュータネットワークといえば、まさに沖電気のビジネス分野である。これこそ、企業特性を生かした社会貢献ではないか。竹中理事長の発言から大きな刺激を受け、発想を転換するきっかけとなった。

東京コロニーと障害者の小川忠さんに ホームページの制作を依頼

沖電気の社会貢献活動がスタートするときに社内啓蒙用ポスターに社会福祉法人東京コロニー障害者アートバンク（現アートピリティ）の作者の絵を使ったことから、東京コロニー職能開発室の堀込真理子さんと知り合う。

IT技術者在宅養成講座（東京都重度身体障害者在宅パソコン講習）の講師でもある堀込さんから、「2年間の講座で経済産業省情報処理技術者試験に合格するほどの技術力を身につけても、在宅で雇用してくれるような企業がない」と、技術力のある優秀な障害者がいても、通勤が困難なため、雇用されない実情を聞かされた。

これは沖電気で在宅雇用をしてほしいという依頼でもあったが、まずは実際に仕事をしてもらうべく、東京コロニー経由で小川忠さん（現・沖ワークウェル社員、頸髄損傷による四肢体幹機能障害1級）に仕事を依頼した。その内容は沖電気で受注していたキオスク端末の商品説明画面を、続いて社会貢献推進室のホームページ制作を依頼した。平成9年のことであった。

特に、ホームページの制作では木村室長自身が発注担当者であったこともあり、小川さんの仕事ぶりを実際に確認す

ることになった。小川さんは、頸髄損傷で首から上しか動かず、菜ばしを口にくわえてパソコンを操作するのだ。速さは普通の健常者でもとても及ばないほどで、その仕事ぶりに感動を覚えると同時に、重度の障害者へのイメージを一新することになった。



東京コロニー
研修卒業生の
小川忠さん

在宅障害者に1人分の仕事量を コンスタントに確保するのが最大の問題

しかし、小川さん1人を在宅雇用すると思っても、現実にはさまざまな問題があった。まず、在宅で働く1人分の仕事量をコンスタントに発注してくれる社内の部門を探す必要があった。さらに問題は、IT関連の仕事は、受注があるときは残業や徹夜が当たり前であると同時に、受注がないときは1カ月も仕事がないという状況であり、そのまま障害者雇用に当てはめるには適しておらず、当面断念せざるを得ないことが分かってきた。

それではどうするか。かえって1人だけの雇用を考えるのではなく、複数の在宅障害者を雇用し、複数の発注

者からの仕事を基本にすれば、誰かが適切に管理することで仕事量が平準化し、労働時間に制約がある障害者でも仕事が可能だと考えた。幸い、沖電気は、業務上ソフトウェア外注会社と仕事をするのは多いので、場所の離れた技術者の管理に慣れている者は多数存在した。

ただ、複数の仕事と複数の在宅障害者を確保するとしても、一体誰が在宅障害者に適切な指示をするのか、複数の重度障害者と仕事をしたことがある者は誰も全くおらず、引き受け手がいなかった。

願ってもいない救世主登場

そんなときに現れたのが、津田貴現取締役である。ソフトウェア開発部門の技術者の津田さんが各部門から在宅障害者に適した仕事を取りまとめ、複数の在宅障害者と複数の発注者の間を取りもつ仕事(コーディネーター)をしたいと申し出たのである。

実は、津田さんは平成9年に社内の行事で左足を骨折、約1カ月半にわたりギブスと松葉杖の生活を強いられていた。この間、数回通勤を試みるも危険が伴うため、結局ほとんど自宅療養していた。このような経験から障害者の社会参加の後押しをするような仕事にかかわりたいと考えるようになっていた。

そのような背景があり、津田さんは大学の先輩でもある木村社会貢献推進室長を訪ねて相談するうちに、通勤困難な障害者のために在宅勤務による雇用の仕組みを一緒に作るようになったのである。その結果、社内ベンチャービジネスとして「重度障害者在宅雇用制度の提案書」を作成、平成10年に会社に提出した。

障害者在宅チーム「OKI ネットワーカーズ」のスタート

この提案書には障害者雇用率の向上に向けての在宅雇用制度の意義はもちろん、ユニバーサルデザインを障害



発足当時の「OKI ネットワーカーズ」

者に学び沖電気製品やコミュニティビジネスに生かすというベンチャービジネスとしての意義が強調されていた。同年7月から障害者の法定雇用率が1.6%から1.8%に改定されることも追い風となり、この提案書は直ちに採用され、社内ベンチャー「OKI ネットワーカーズ」という名の障害者在宅チームが発足した。

その後、「OKI ネットワーカーズ」は、着実に沖電気やグループ各社のホームページやプログラムの仕事をこなしつつ、その技術力や誠実な対応が認められ、次第に仕事量も増え、沖ワークウェルが設立される平成16年には、メンバーも13名を数えるほどになっていた。それは、障害のある複数の優れた在宅技術者集団に営業、SE、納期・品質管理のできる有能なコーディネーターを巧みに配置することで、発注者が安心して仕事を依頼できる独特の仕組みが十分機能することを証明したこともあった。

特例子会社「沖ワークウェル」の誕生

「OKI ネットワーカーズ」が沖電気グループ内に定着し一定の評価を得るようになるに伴い、平成16年4月に次のような目的を掲げ、特例子会社の株式会社沖ワークウェルが設立された。

1. 企業理念『チャレンジドとともに「e 社会」創造』
2. 沖電気グループのCSR（企業の社会的責任）、コンプライアンス（法令遵守）の促進
3. 沖電気グループの障害者法定雇用率達成と維持
4. 在宅勤務者ばかりでなく地域の通勤できる障害者の雇用の促進
5. 雇用障害者の処遇や労働条件の改善

冒頭に「e 社会」の創造を掲げたのは、親会社である沖電気が企業ビジョンに、ネットワークを基盤に制約や国・地域・文化などの違いを超えて、あらゆる社会活動が「個」を中心に公平・安全・確実に行われる社会を「e 社会」として、その創造を掲げているからである。これをチャレンジド（障害者）とともに創造しようとするのが沖ワークウェルである。

また沖ワークウェル設立の目的には、沖電気グループ全体のCSRやコンプライアンスの促進および障害者の法定雇用率達成・維持の中心的な役割を担うと同時に、この機会に在宅ばかりでなく通勤できる障害者の雇用や障害者の労働条件の改善も図ろうという同社のねらいが明確に示されている。